

事業名	試験研究調整事業費			調査番号	84
細事業名	農業技術会議等運営費	財務コード	064902		
担当部課室	農政 部 農業技術 課 有機農業・研究 担当 (内線)	5358			

I 事業の概要

実施期間	始期	年度	～	終期	年度
実施主体	県(直営)				
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして			結果、何に結びつけるのか
	農業に関する試験研究	効率的かつ効果的に実施されている			農業技術の普及による農業振興
内容	農業関係試験研究を効果的に実施していくため、次の会議を開催し、試験内容・普及方法の適正化を図る。 ○農業技術会議の開催(1回) ○試験研究連絡会議の開催(9月,2月) ○試験研究課題の調整及び研究成果の利活用会議(3場所×3回=9回) ○部門別農業代表者会議の開催(各場所において開催) ○外部評価制度に伴う課題評価委員の設置及び運営(3場所×2回=6回) ○機関評価の実施(各場において5年に1回、H29年度に実施)				

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31(R1)年度	R2年度	
活動指標	会議の回数	目標	26	26	26	21	21	21	19
		実績(見込)	26	26	26	20	18	19	
		達成率	100.0	100.0	100.0	95.2	85.7	90.5	
		達成区分	b	b	b	b	b	b	
成果指標		目標							
		実績(見込)							
		達成率							
		達成区分							
決算(予算) 単位:千円		615	675	741	712	549	932	626	

III 事業の評価(平成30年度の業績評価)

活動指標	b	評価	各種会議の開催により、試験研究の基本的方向や課題の設定方針が定まり、課題の調整が図られる等、効率的・効果的な試験研究の実施に結びついている。
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(令和2年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input checked="" type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	会議の内容を反映し、試験研究の効率的・効果的な実施が図られ、試験研究の質の向上に繋がっている。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ()		
その他	説明			
見直しの必要性	有	多くの会議があるため、類似の会議を統合することで、会議開催に係る準備作業の削減を図る必要がある。		

V 見直しの方向(令和2年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	試験研究機関と農政部各課及び出先関係機関との連携・調整のための「試験研究連絡会議」を「試験研究課題の調整及び研究成果の利活用会議」等と統合する。
----------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。